

UEC-EV68K

¥31,104 (税込)

概要

UEC-EV68Kは、シングルボードコンピュータUEC-68Kの評価開発用ボードです。ICEにダイレクト接続可能なPGAソケットが用意されているだけでなく、RS-232Cレベル変換回路やパラレル出力ポートのLEDモニター機能、デバッグ用拡張RAMデコーダ等も装備されていますので、ROMモニターやROMインサーキット方式のICEをご使用になる場合にもたいへん便利です。

UEC-EV68KとUEC-68Kはコネクタが共通ですから、開発中はUEC-EV68Kを使用し、組み込み時にUEC-68Kと差し替えることができます。なお、UEC-EV68KにはUEC-68Kが着脱可能な状態で含まれています。

主な特長

ICEダイレクト接続

68000CPU用ICEプロンプが接続可能なPGAソケットが装備されています。

RS-232Cレベル変換回路

チャンネル0または1に切り替え可能です。(チャンネル0の場合は/CTS、/DTRにも対応)

パラレルポートLEDモニター

バッファを通してLEDを駆動しているため動作回路にほとんど負荷となりません。

拡張RAM用制御回路

ROMモニター等でデバッグする場合に不足しがちなメモリーをボード上に増設できます。デコード・制御回路はあらかじめGALにプログラム済です。(ユーザー書き換え可能)

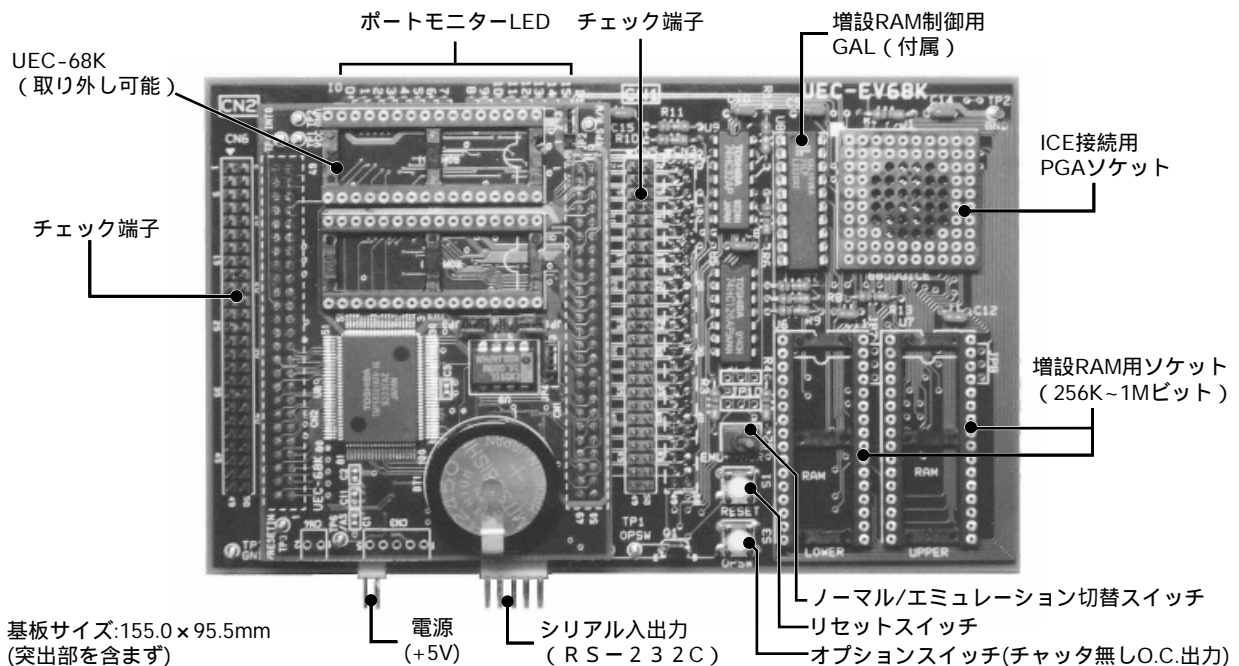
テスト用スイッチ

チャタリングのないオープンコレクタ出力の得られるプッシュスイッチが用意されています。

CN1,CN2用チェック端子

低価格

外観




安全に関する注意事項



本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

技術的なお問い合わせは(技術部直通TEL/FAX)

 0120-024768

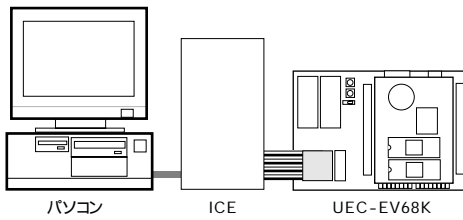


梅澤無線電機株式会社

東京営業部 101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494
仙台営業所 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882
札幌営業所 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515

開発環境のご提案

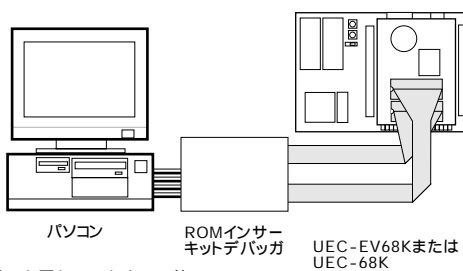
ICEをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 ICEコントロールソフトウェア

ホストマシン上でアセンブラ・Cコンパイラ等を使用してプログラムを開発し、ICEにダウンロードしてデバッグを進めます。また、ホストマシン上で高級言語対応のコントロールソフトウェア(マイクロテックリサーチ社XRAYデバッガ等)を使用すると、ソースレベルでのデバッグも可能です。システム全体の価格は高価ですが、ハードウェア・ソフトウェア全般のデバッグに最も強力な開発環境を構成します。ICE本体は短期間のレンタルで使用することもできます。

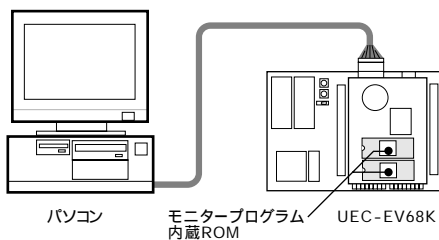
ROMインサーキットデバッガをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 デバッガコントロールソフトウェア(デバッガに付属)

ターゲットのROMソケットを通してデバッグを行うタイプのICEはコストパフォーマンスにすぐれ、シンボリックデバッグやソースレベルデバッグが低価格で実現可能な他、コントロールソフトのみの追加購入で86系やZ80系のデバッガとしても使用できます。この種のICEが動作するためにはCPUやメモリが正常に機能している必要があるため、周辺回路のバスインターフェースに異常がありCPUが動作しない場合はデバッグできませんので注意が必要です。

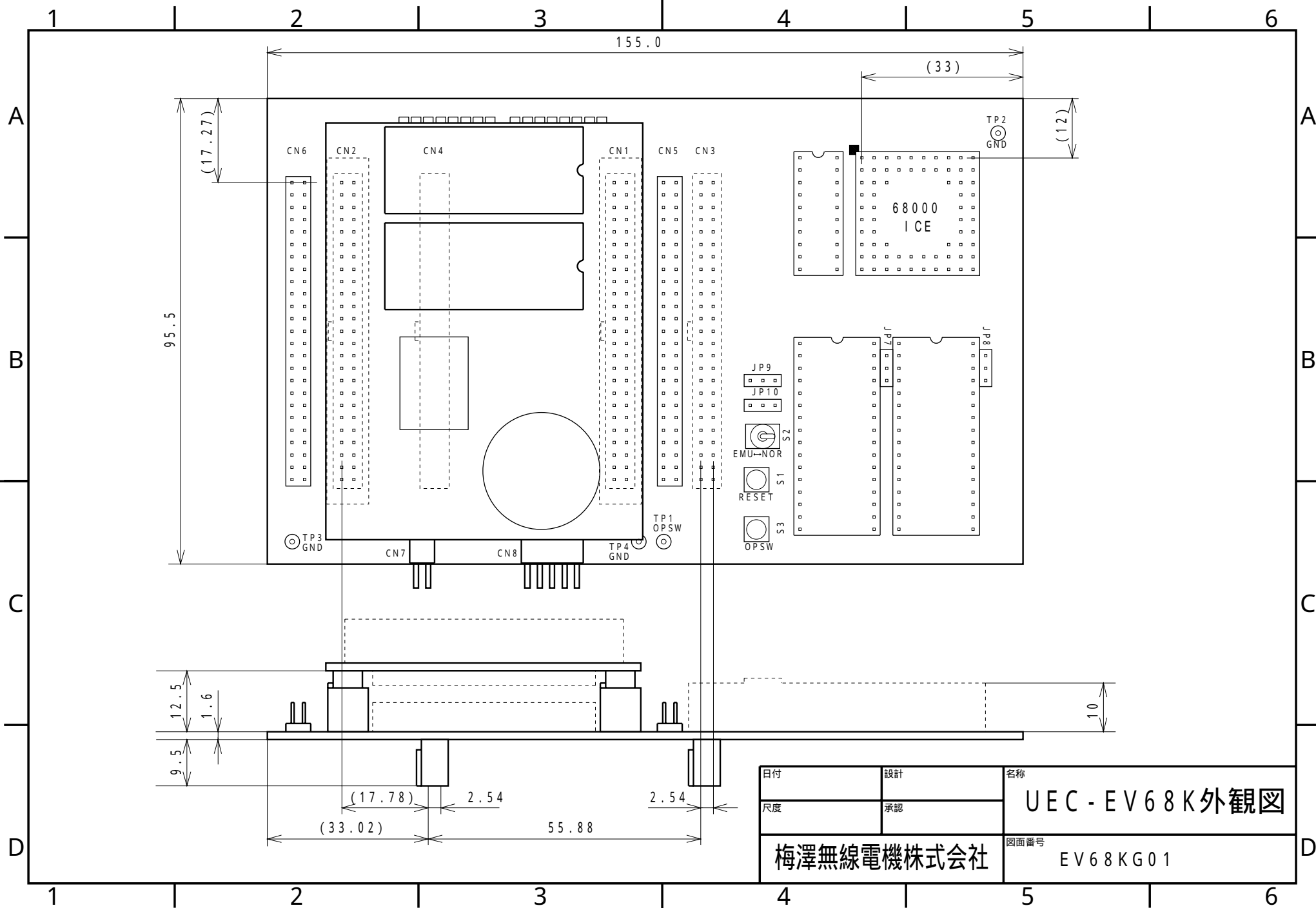
ROMモニタープログラムをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ ターミナルソフト(パソコン通信のもの)
 X68KMON(ROMモニタープログラム)

X68KMON(ROMモニタープログラム)をUEC-EV68K上で動作させ、パソコン等をターミナルとしてRS-232Cで接続します。ホストパソコン上で開発したプログラムをRAM上に転送し、デバッグを進めます。シンボリックデバッグはサポートされていないため大規模なプログラムの開発には不向きですが、アセンブリ言語入力コマンドを備えているため、簡単な実験等には小回りのきく便利な開発ツールです。なお、X68KMONは共立電子産業(株)の製品です。

いずれの場合も開発時にはUEC-EV68Kを使用し、ROM化が完了した時点でUEC-68Kとダイレクトに差替えることができます。



日付	設計	名称
尺度	承認	UEC-EV68K外觀図
梅澤無線電機株式会社		図面番号
		EV68KG01

